

広報

七

9
月号

No.
709

特集

BEYOND
300th

荻野ばんこ

写真 石川伸行さん
(町芸術文化協会写真部会 福村)

特集
BEYOND
300th
菰野ばんこ

300周年を迎えた萬古焼

陶

祖生誕300周年を2018年に迎えた萬古焼。三重県北部を中心に地場産品として古くから生産され、菰野町もその生産地のひとつとして技術を受け継いでいます。萬古焼に携わる職人たちは、300年の歴史の中でそれぞれの窯元で創意工夫を行い、蓄積された技術を昇華させ、そして今日の萬古焼を焼き上げています。

今月号の特集では、現代の萬古焼が形作られるまでの系譜と菰野の地で意欲的に作陶活動を行う7人の窯元たちの姿をお伝えします。



▲古萬古
色絵金彩山水文盃



▲古萬古
色絵山水文雪輪鉢



▲古萬古
青釉色絵山水文獅子鈕銚子



▲古萬古
色絵山水文仙蓋瓶



▲古萬古
色絵龍文花生



▲有節萬古
色絵菊牡丹文福面形皿



▲有節萬古
青釉丸文猪口

▲有節萬古
色絵四季花文平向付

有節萬古から四日市萬古へ

沼

波弄山の死後、桑名の古物商、森有節と弟の千秋が萬古焼を再興するため、萬古発祥の地である朝日町小向で窯を開きました。有節は神社の大工仕事をこなすほど木工技術に長け器用で、弟の千秋も兄に劣らぬ才能の持ち主であったといわれています。2人はその才能を生かし、当初は沼波弄山の作風を再現したものを多く作陶していましたが、次第に時代を先取りするような独自の新技法をいくつも生み出し、人気を集めるようになりました。有節独自の技法とこれまでにない独創的な作品から、有節の作品は「有節萬古」と呼ばれるようになりました。



▲有節萬古
色絵雨龍桃文盃洗

を興しました。これが「四日市萬古」の始まりです。四日市萬古は四日市市垂坂山の陶土を使い、木型、土型による成形の容易さから多く流通させることができ、四日市港が整備され交通網が発展すると、需要が増大して全国へ広がりました。また、海外向けの製品を製造し、販路を輸出へも広げていきました。こうして世の中に萬古焼が大きく知られることに繋がりました。



▲菰山焼
菰野焼菓子鉢

陶祖 沼波弄山の功績

萬

古焼は、江戸時代中期に桑名で陶器専属の問屋を営んでいた沼波弄山が朝日町小向に窯を開いたことが始まりといわれています。弄山の作品には沼波家の屋号である萬古屋の「萬古」あるいは「萬古不易」の印を押したことから萬古焼と呼ばれるようになりました。

弄山が作る焼き物は好評を博し、後に將軍家からの注文も受けるほど評価が高かった。1751年には江戸の向島小梅の地にも窯を設け、江戸でも萬古焼は評判を得ました。しかし、1777年に弄山が亡くなると、萬古焼は徐々に衰退の一途をたどるようになっていきました。現在では、この時代の作品を弄山以降に再興された萬古焼に対して「古萬古」と呼んでいます。

萬古焼の歴史

1718年	享保3年	沼波弄山が桑名に生まれる
1736年	元文年間	沼波弄山が朝日町小向村に開窯
1740年		萬古焼の始まり
1751年	宝暦元年	沼波弄山が江戸の向島小梅で江戸萬古を開窯
1832年	天保3年	森有節と千秋が小向村に開窯
1852年	嘉永5年	土井吉蔵が東菰野村で開窯
1853年	嘉永6年	山中忠左衛門が四日市末永村に開窯
1870年	明治3年	四日市萬古の始まり
1873年	明治6年	四日市と東京間に蒸気船の航路が開通
1884年	明治17年	山中忠左衛門が陶法を一般公開し萬古焼の量産体制を確立
1890年	明治23年	四日市港が開港し、萬古焼の輸出が広がる
1918年頃	大正7年頃	関西鉄道が開通し萬古焼の販路が拡大する
1945年	昭和20年	機械ろくろの導入
1964年	昭和39年	菰野町内に製陶所が創業
2006年	平成18年	自動成形機の導入
2018年	平成30年	第1回菰野ばんこ焼窯出市の開催 BANKO 300th プロジェクト始動 陶祖生誕300周年

菰山焼と菰野萬古の発展

四

日市、桑名などそれぞれの地で発展を遂げた萬古焼は菰野町へも波及しました。森有節に陶法を学んだ菰野町の土井吉造は菰野藩主から「菰山」の銘を賜り、1852年から東菰野村で「菰山焼」と称される焼き物の作陶を始めました。菰山焼は茶器や花器などが多く、「菰山」の丸杵印が捺されています。吉造が1899年に亡くなると菰山焼は衰退し、遺されている菰山焼の作品は大変貴重なものとなっています。

受け継がれる
300年の技術と伝統
そして現代の萬古焼へ



▲有節萬古
青釉三人形蓋置

※掲載している「古萬古」「有節萬古」は全てパラミタミュージアム所蔵のものです。

菰山焼の衰退以降、1945年頃から町内で製陶所が開窯され始めました。土地が平坦で広く、燃料となる薪が付近で豊富に得られ交通の便も優れていたことから竹成区を中心に製陶所ができました。その後、永井区、下村区、川北区、宿野区などで萬古焼の生産が行われました。1965年頃には町内に10箇所以上の製陶所が存在し、四日市市の萬古工場群にも匹敵する規模となっていました。

▲菰山焼
徳利



Ito
Yasuhiro



Matsuo
Tetsuya



Ishikawa
Tetsuo



Yamaguchi
Norihiro



Horiuchi
Hironiki



Minamikawa
Yusaku



Kunimoto
Yasuhiro



ごはん鍋
【三鈴陶器】

取っ手や形状にこだわった鍋。色やサイズに様々な種類があります。



一輪挿し

【陶工房みなみかわ】
星などの図形を用いた図柄や異国感のある色合いが特徴的です。

菰野ばんこ LINE UP

マグカップ

【藍窯】
藍色の絵付けが施され、その絵柄はたくさんの種類があります。



すり鉢

【山口陶器】
器内の細かな凸凹でゴマなどをすり潰せる機能的な作りになっています。



スープ
ボウル

【クラフト石川】
そのままオープンなどでスープを温められる便利な器です。

納豆鉢

【松尾製陶所】
納豆をかき混ぜると器内に施された溝によってフワフワに仕上がります。



茶碗

【泰成窯】
どんぐりシリーズには茶碗の蓋などにかわいいどんぐりが付いています。



泰成窯

Taiseigama

食器やご飯土鍋、陶櫃などを自社生産にこだわり生産しています。遊び心あふれる「どんぐりシリーズ」も人気です！

住所	竹成 1781-1
TEL	396-4508
FAX	396-4508



松尾製陶所

Matsuo Ceramics

土の温もりを感じられる土鍋や土瓶を生産し、特に夏の蚊遣り豚は町内ではここだけの製品でかわいいと評判です。

住所	竹成 1926
TEL	396-0519
FAX	396-2639



クラフト石川

Craft Ishikawa

土を叩いて成形するタタラ成形を主として、優しく手になじむシンプルで自然体の日用雑器を提案しています。

住所	永井 3029
TEL	396-3731
FAX	396-3731



山口陶器

Yamaguchi Ceramics

使い手や料理のことを考え、企画やデザインされた器はこれまでにない萬古焼として注目されています。

住所	川北 200-2
TEL	393-2102
FAX	394-0380



藍窯

堀内製陶所

Aigama
Horiuchi Ceramics

「藍窯」の名の通り、「藍」にこだわり、藍彫・白磁彫といった手作業の伝統技術を生かして製作しています。

住所	竹成 370-8
TEL	396-2600
FAX	396-0517



陶工房 みなみかわ

Pottery Workshop
Minamikawa

青年海外協力隊で過ごした異国での経験が作品作りに生かされています。かわいい小物などにも注目！

住所	永井 701-1
TEL	396-1495
FAX	396-1495



三鈴陶器

Misuzu Ceramics

耐熱陶器の技術を使って土鍋や陶板を生産しており、おいしくお米を炊きあげられるごはん鍋を主力にしています。

住所	永井 3098-1
TEL	396-0529
FAX	396-0798

伝統と技術を携え 現代の菰野ばんこを生み出す7人の窯元

Seven potters who create the modern Komono banko with tradition and technology



窯元の個性光る菰野ばんこ

現

在、町内には萬古焼の窯元として7つの製陶所があり、萬古焼の新たな価値の創出や技術の伝承に向けて取り組んでいます。特に近年では菰野町の萬古焼をブランドとして確立するため「萬古」をあえて平仮名で記して「菰野ばんこ」と称して売り出しています。

「菰野ばんこ」の7つの窯元ではそれぞれの特徴を生かした作陶活動を行っています。生産する製品もこれまでの萬古焼にないデザイン性に富む器、萬古焼の耐熱性を生かして直火やIH調理機に対応した鍋や皿、お米をよりおいしく炊きあげられるように考案されたご飯鍋など、これまでにないものが数多く生み出されています。それらの製品は従来の萬古焼の特性を持ちつつも形や色などで真新しさを感じられるもので、市場ではその真新しさが付加価値となりより一層、注目されてきています。使用する人の生活を意識して、ニーズに細かく対応してきた菰野の窯元たちの柔軟な発想と独自のアイデア、そして経験で培われた確かな技術が萬古焼を新たな形へと昇華させています。

7月21日 第25回
執行 参議院議員通常選挙



参 議院議員通常選挙（7月4日公示）が7月21日に行われ、即日開票されました。町内の投票率は55.70%（選挙区）で、平成28年7月に行われた前回の参議院議員通常選挙の63.28%から7.58ポイント下がりました。

選挙区選出議員選挙では吉川ゆうみ氏が当選しました。

選挙へ行こう



▶投票所別投票率（菰野町、選挙区）

投票所	男	女	計
第1投票所（B&G 海洋センター）	44.02%	38.88%	41.34%
第2投票所（菰野地区コミュニティセンター）	35.80%	34.62%	35.19%
第3投票所（鶴川原地区コミュニティセンター）	45.81%	41.64%	43.65%
第4投票所（竹永地区コミュニティセンター）	37.55%	37.09%	37.32%
第5投票所（朝上地区コミュニティセンター）	36.23%	33.92%	35.07%
第6投票所（小島集落センター）	43.04%	38.88%	40.94%
第7投票所（千種地区コミュニティセンター）	38.39%	35.71%	37.00%
第8投票所（菰野保育園）	32.80%	31.12%	31.95%
期日前投票	17.60%	19.32%	18.48%
合計	56.06%	55.36%	55.70%

▶参議院選挙区選出議員選挙開票結果（敬称略）

候補者氏名	届出政党名	菰野町	選挙区
当 吉川ゆうみ	自由民主党	8,714	379,339
門田節代	NHKから国民を守る党	1,032	40,906
よしの正英	無所属	8,642	334,353

▶参議院比例代表選出議員選挙名簿届出政党等の得票数

政党等名称	菰野町	三重県合計
日本共産党	1,147	45,660
自由民主党	5,927	259,391
オリーブの木	90	2,887
社会民主党	402	16,403
公明党	2,408	101,481
国民民主党	2,697	89,003
日本維新の会	1,138	55,436
幸福実現党	97	3,419
立憲民主党	2,987	126,892
労働の解放をめざす労働者党	34	1,249
NHKから国民を守る党	358	14,421
安楽死制度を考える会	116	3,931
れいわ新選組	790	28,990

※小数点未満切捨

Net119

緊急通報システム 10月1日運用開始

What's Net119?

声での会話が困難な方や聴く事や話す事に不安がある方がスマートフォン等で119番通報ができるサービスです。いつでもどこからでも管轄する消防本部へ、音声に頼らずに通報できます。

Eメール119からNet119へ

これまで音声を用いない119通報システムとしてEメール119がありましたが、Net119緊急通報システムでは位置情報（GPS）が通報され、チャット形式で通報ができます。

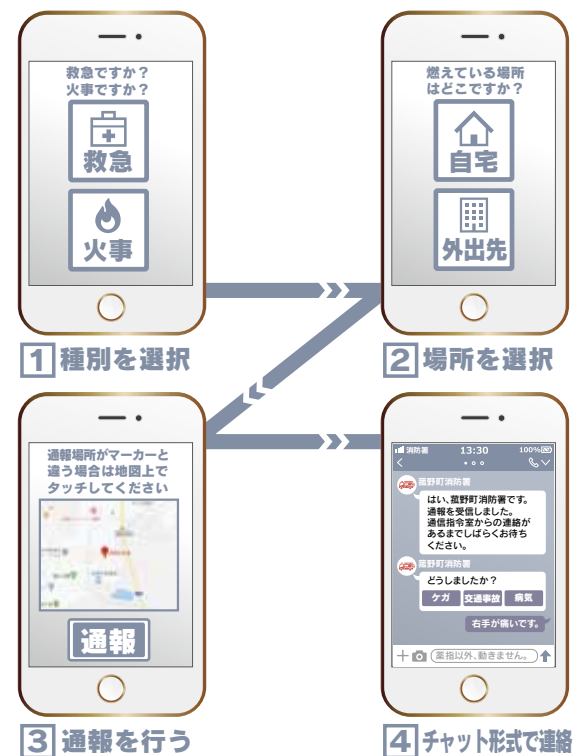
※Net119緊急通報システムの利用には登録が必要です。説明登録会を開催しますので詳しくは、おしらせ版9月前半号をご確認いただくか、下記までお問い合わせください。

※Eメール119は、令和2年1月14日をもって運用停止となります。

GPS通報

チャット形式

Net119緊急通報システムの手順



※紙面上のスマートフォンの画面はイメージです。

【問い合わせ】菰野町消防署

TEL 394-3239 FAX 394-5766

MAIL komonofd119@m3.cty-net.ne.jp

300周年を迎え さらにその先へ

新たに生まれる「菰野ばんこ」の価値

絵付け

柄や模様を付けます。そのほとんどが職人の手書き作業。

菰野ばんこができるまで 工程を紹介

素焼きの準備

製品を並べ700～800度の温度で焼き上げ、絵付けや施釉の工程をしやすくします。



仕上げ

取っ手やつまみなどの細かいパーツを接合させます。



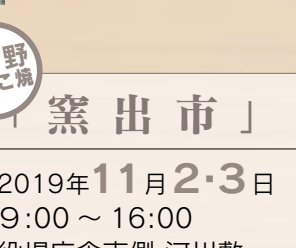
焼成

1100～1250度の温度で長時間、焼き上げて完成となります。



施釉

専用のはさみで浸すなどして釉薬をかけ、色をつけます。



「窯出し市」

2019年11月2・3日
9:00～16:00
役場庁舎南側 河川敷

今年は、ろくろや絵付けができる体験コーナーやライブキッチンなども予定されています。買わずに見ていただくだけでも大歓迎！



7人の窯元が作り上げる

菰 野ばんこを生産する7人の窯元は「菰野ばんこ会」を結成し、菰野ばんこの普及を図っています。その活動のひとつとして菰野ばんこ焼「窯出し市」があります。窯出し市は、2019年で14回目の開催を迎え、7つの窯元が1年間の集大成として作品を持ち寄り、販売します。例年、県外からの来場者も多く、目当ての窯元の作品を購入しようと多くの方で賑わいます。

今の日本のライフスタイルに合った萬古焼をどのように提案して生産するか。現在の萬古焼は、大衆向けの大量生産だけが求められるものではなくなってきたいます。そんな状況の中で7人の窯元は時には技術を教え合いながら新たな菰野ばんこのかたちを生み出し続けています。菰野町の歴史ある地場産品として300年の伝統を絶やさないよう窯のように熱い思いで今日も菰野ばんこを作り続けています。

暮らしの中に
菰野
ばんこ

BEYOND
300th
菰野ばんこ

8月 三重県大会で上位の成績を収めての出場

5日 少林寺拳法で全国大会出場

全国中学生少林寺拳法大会および少林寺拳法全国大会に出場する金剛禅総本山少林寺 湯の山道院の遠藤 築さん（菰野中1年）、中村 絆さん（菰野中1年）、早川和弥さん（菰野中1年）、梁川涼花さん（千種小4年）、梁川雅月さん（千種小2年）が町長を訪問しました。町長から「競技をしていてよかったことは」と問われると、遠藤さんは「大会で金メダルをとれると嬉しいです」と笑顔で答えました。



▲左から遠藤さん、早川さん、中村さん、梁川涼花さん、梁川雅月さん

長年の功績を称えて

叙位叙勲

【従六位】伊藤正司さん 6月30日死去
(85歳 菰野第二区 元県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長)

【正六位】瑞宝双光章 小林 勝さん 7月7日死去
(68歳 菰野第三区 元神前小学校長)

西警便り

秋

の全国交通安全運動

運動期間 9月21日土

9月30日月

S・Bデー 毎月第1月曜日
内容 自転車の安全対策

横断歩道SOSの日 毎月11日
内容 横断歩道の歩行者安全対策

運動重点01▷子どもと高齢者の安全な通行の確保

運動重点02▷高齢運転者の交通事故防止

運動重点03▷飲酒運転の根絶

運動重点04▷夕暮れ時と夜間の歩行中、自転車乗車中の交通事故防止

運動重点05▷全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用

主な活動	日時	場所等	内容
交通安全運動出発式	9月20日金 16:00～	四日市西警察署 駐車場	交通安全宣言 車両部隊の出動
こもガク・マルシェ 広報活動	9月28日土 10:00～	役場本庁周辺	交通安全体験 交通事故防止啓発活動
交通事故死ゼロを 目指す日	9月30日月	町内各所	死亡事故を防止する各種活動

問い合わせ

シートベルト
着用!

四日市西警察署
TEL/FAX 394-0110

8月 女子軟式野球で全国大会優勝を目指す

2日 三重高虎ガールズが全国大会出場

全日本女子軟式野球学生選手権大会および全日本中学女子軟式野球大会に出場する三重高虎ガールズの諸岡美音さん（八風中3年）、前田紫稀さん（菰野中1年）、諸岡優音さん（八風中1年）が町長を訪問しました。町長から「目標は」と問われると、諸岡さんは「全国制覇です」と力強く答えました。



▲左から諸岡美音さん、諸岡優音さん、前田紫稀さん、町長

8月 燈火で浮かび上がる「元」の文字

17日 燈火まつり&町民盆踊り大会

今年で10回目となる三滝川燈火まつり&町民盆踊り大会が役場本庁南側河川敷と福祉公園周辺で開催されました。



▲燈火を見つめる浴衣姿の子どもたち

8月 総勢54人が各大会に挑む

2日 中学生が全国大会、東海大会に出場

全国大会や東海大会に出場する選手の激励会が役場本庁で開催されました。全国大会には陸上競技で打田快生さん（菰野中3年）、清水寧々さん（八風中3年）が出場しました。また、東海大会には陸上競技、柔道、水泳、剣道、ハンドボール、サッカーで出場しました。激励会では、出場選手を代表して清水さんが、「いい成績を目指して精一杯走り抜けます」と大会への決意を語りました。



▶全国大会へ出場した打田さん（写真左）と清水さん



▲東海大会に出場した菰野中学校の生徒たち



▲東海大会に出場した八風中学校の生徒たち

■全国大会出場選手

菰野中学校【陸上部】打田快生

八風中学校【陸上部】清水寧々

■東海大会出場選手

菰野中学校

【陸上部】打田快生 溝口銀二 近藤瑞季 村上えみな

【柔道部】伊藤主税 尾崎勇海 萩 颯太

【水泳】石川凌久 平松幸姫

【剣道】坂井結月

【ハンドボール部】伊藤未悠 北住穂果 橋本陽葵 山下紗楽

安藤萌花 浦部愛結実 芝田結心 田畑楓音 森田理世

岡本紗奈 出口由唯 酒井菜々巴

八風中学校

【陸上部】清水寧々 栗飯原早希 境 文音 勝島朱夏里

山根稜平 近藤愛美 谷 莉未香

【水泳】田畑 賢 白井 亮 陣内海人 松岡湊利

【サッカー】進士琉空 水谷颯太 森 太陽 渡邊勇志

中世古慶志 浅野慎太郎 柄澤京世 黒 大地 西下 暉

横山心都 石川虹晴 岡田大和 位田統哉 黒田愛斗

清水心白 菅原雄大 松永拓磨 安井颯良 安田凜生

高橋悠来 野口諒明

敬称略

7月 県大会で優勝して全国大会に初出場

22日 ハンドボールで全国大会出場

全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会に出場する桑名工業高等学校の松岡 駿さん（2年）が町長を訪問しました。町長から「大会への意気込みは」と問われると、松岡さんは「初出場ですが優勝目指して頑張ります」と答えました。



▶大会での健闘を誓った松岡 駿さん（写真左）と町長

7月 町の子どもたちの教育に役立てるために

25日 アクアイグニスが図書を寄贈

町内の各小中学校へ(株)アクアイグニスから図書が寄贈されました。寄贈された図書は、各小中学校の図書室に配架され、子どもたちに貸し出されています。



▲小学校に寄贈された図書（一部抜粋）

7月 8月2日から2日間の日程で広島を訪問

29日 中学生広島訪問壮行会を開催



▲壮行会での記念撮影

平和の尊さを学ぶために広島を訪問する菰野中学校と八風中学校の生徒10人の壮行会が役場本庁で開催されました。訪問団を代表して八風中学校3年の山口萌衣さんは「千羽鶴に町の平和への思いをのせて広島に届けてきたいと思います」と決意を述べました。また、8月7日から15日までの間、図書館1階ギャラリーで平和祈念展として原子爆弾の悲惨さなどを紹介したパネルなどを展示しました。

梅雨に入り日々の暮らしを楽しまんと
引越しほどに模様がえする

雨の夜にまよいこみたる黄の蝶が
柱のかげで一夜泊りぬ

本当の思いを書けず日記閉ず
たった一行「今日は雨なり」

「甲州の夜露に濡れた土のにはひ」とか
言ひながらソムリエは注ぎぬ

川とんぼ初夏の風つれゆらゆらと
吾が身のそばを通り過ぎゆく

熟れ麦を倒してゆけりぼこぼこと
窪み残せる風のいたずら

平林 和江

大倉伊都子

豊田真智子

奥村秋男

平井光子

市川吉康

俳句

北部公民館俳句会改め
朝上俳句会

石井いさお 選

取り込みに残る一枚梅雨の雷

野の勾束ね茅の輪の精気帯ぶ

庭園の石に色つけ苔の花

サルビアの赤色からの招き門

先づ天を結び広前茅の輪立つ

箒目の溝も失せゆく長き梅雨

川霧の向こう岸から鳥の声

天からの小さき妖精菩提の花

あおじ 蒿雀啼く雨後晴天をわがものに

つるぎは 剣葉に風包み込み青田波

混み合ひて花の浮き島布袋草

御守りも荷物の一つ登山囊

谷崎 みち

水野 悦子

館 千恵子

古瀬 民子

水谷 洋子

小林 桂子

小林 彰

小林すま子

清水じゆう

高木 満枝

宇佐美ちる子

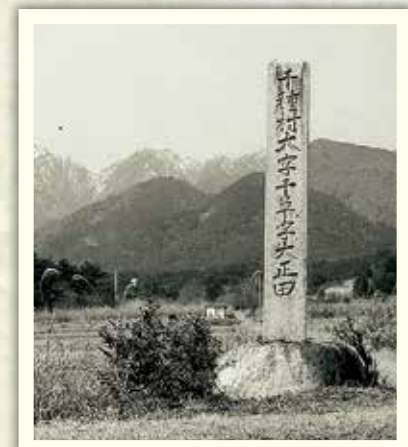
選者 吟

第90回写真で振り返るこもの

このコーナーでは菰野町の懐かしい風景
を紹介します。今月号は昭和53年頃に
千草区で撮影された大正田の写真です。



写真の撮影場所



鈴鹿山脈を背景にのどかな風景が広がり、
石碑が立つ大正田の景色

DATA 7月のデータ

	件数	1月からの累計
火災発生	0	6
救急車出動	148	903
交通事故	15	85
急病	101	614
一般負傷	21	146
その他	11	58
救助出動	3	15
交通事故	95	689
物損事故	92	657
人身事故	3	32
死者	0	1
傷者	3	42

	数	増減
総人口	41,709人	-2人
男	20,649人	-2人
女	21,060人	0人
総世帯数	16,557世帯	+38世帯
下水道接続人口	28,649人	+20人
接続率(対総人口)	68.7%	+0.1%

7月末現在



ボランティア基金▶堀田正人さん、久人さんから10万円
社会福祉のために▶坂井倫枝さんからハンドベル一式

平成30年北海道胆振東部地震災害へのご支援ありがとうございます

菰野町では、平成30年北海道胆振東部地震の被災地に対する義援金の
受付を行っています。皆様から義援金として、85,734円(8月23日現在)
のご支援をいただいています。この義援金は日本赤十字社三重県支部を
通じて被災地へ送ります。

【問い合わせ】総務課安全安心対策室 TEL391-1102 FAX394-3199

■菰野町ホームページアドレス(URL) <http://www.town.komono.mie.jp/> ■菰野町電子メールアドレス keyaki@town.komono.mie.jp

*インターネットの菰野町ホームページでは、広報こものを当紙と同じ体裁でご覧いただけます。

「広報こもの」は視覚障がいのある方(障害者手帳をお持ちの方)に「声の広報」をお届けすることができます。

ご希望の方は役場企画情報課(TEL391-1105/FAX391-1188)にお問い合わせください。